

2011年ABAC第3回リマ会議ニュースリリース【仮訳】

私たちは共存している： APEC地域のビジネス界のリーダーたちは
経済的苦境に対処するため政府によるより大きな協力を要請する

【ペルー・リマ】2011年8月23日—

APECビジネス諮問委員会は今日、APEC参加各国・地域の政府に対し、最近の国際金融市場の不安定さの原因に対処するため、民間部門と一層協力するよう要請した。現在の状況は、民間部門の投資の阻害要因と、保護主義の再燃の危険を創出している。

「私たちは、政府に対し一緒に働き、また、それぞれのビジネス・コミュニティとともに、包摂的な経済成長を刺激し、短期的には雇用を創出し、長期的には究極の目的であるアジア太平洋自由貿易圏という目標に向けた均衡ある成長のための計画を立案するよう要請している」とABAC議長のデブ・ヘンレッタは述べた。

APECビジネス諮問委員会のビジネス界のリーダーたちは今週、APEC首脳に提出し、11月にホノルルで首脳らと詳細について話し合う提言を纏めるためにリマで会合をもった。会合でABAC委員らは、保護主義の潜在的な高まりについて懸念を表明し、首脳に対し保護主義政策を退ける約束を再確認するよう要請した。

2011年のABACのAPEC首脳への提言は、地域経済統合、持続可能な成長、中小零細企業（SMME）に、21の国・地域による21世紀の繁栄というビジョンの実現のためにビジネス界が支援することができる重点分野として焦点を当てている。

地域経済統合については、ABACは、グローバルサプライチェーンの複雑さについて理解を深め、域内のモノ・サービスの効率的な流れを阻害する隘路を特定する手助けとなる、サプライチェーン及びバリューチェーンフレームワークを作成した。

3月に日本で発生した地震と津波の壊滅的な影響は高度に統合されたサプライチェーンの実態と事業継続への備えの重要性を浮き彫りにした。

ABACはまた、競争政策、投資、サービス、政府調達、熟練労働者の不足などの次世代貿易課題を特定、APEC参加各国・地域に対し、域内の規制に一貫性をもたせる取り組みに向けた、主要な政策アプローチについて提言を行った。

持続可能な成長のテーマではABACは、環境物品・サービスの貿易の増大・協力に加え、食料安全保障について、官民による協調的取り組みを要請した。さらにABACは、域内の政策立案者に対する提言のベースとなりガイドラインとなるエネルギー安全保障枠組みをとりまとめた。

SMME（中小零細企業）にとって強固なビジネス環境を醸成することは、全ての国・地域の成長と雇用の創出にとり重要なことである。ABACは、域内でのSMMEサミット開催や、若手起業家や女性を対象としたより一層の経済包摂の取り組みを含め、SMMEの機会を増強し、小規模ビジネスに影響を及ぼす問題についての理解を深めるため活動を通じたキャパシティ・ビルディングの取り組みを主導している。

これらの活動をはじめとする多くのことを通じ、ABACは各国・地域の政府が成長と地域のより大きな経済統合と安定を達成するための支援に注力している。